

	引き出す教師のことばかけ	期待する児童生徒の姿	認め伸ばすことばかけ
つかむ	<p><b>既習事項を想起させる</b></p> <p>「前の時間に学んだことは…?」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業の始まりとともに、児童生徒が既習事項について自由に話をしてもよい。</li> <li>●単元の学習計画が子どもと共有されている場合は、本時の学習についても、確認させる。</li> </ul>	<p>「前の時間は、…について勉強しました。」</p> <p>「前の時間の勉強では、…がわかりました。」</p> <p>「今日は、…について考えます。」</p>	<p><b>課題解決への意欲を高める</b></p> <p>「よく覚えていたね。」</p> <p>「前は、そんな考え方で解決したね。」</p> <p>「今日は、その考え方が使えるかな?」</p>
	<p><b>学習課題を認識させる</b></p> <p>「この問題と前の問題の違いは分かる?」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を各自に予想させる。</li> <li>●分からないところを挙げさせる。</li> </ul> <p><b>見通しをもたせる</b></p> <p>「どうしてかな?なぜかな?」「いくつになるかな?」「どうしたらできるかな?」「まだヒントはないかな?」「これでできそう?」「やってみる?」</p>	<p>「違うところは…、似ているところは…」</p> <p>「今日の課題は、…だと思う」</p> <p>「なんで…なのかなあ。」「ここが分からないよ。」</p> <p>「今日の時間、このことができるようになるとうれしいな。」</p>	<p>「よく違いに気づいたね。みんなの気づきが、今日の課題に結びついたんだよ。」</p> <p><b>学習への意欲を高める</b></p> <p>「〇〇さん、姿勢がいいね。」</p> <p>「〇〇さん、きのうより準備がはやくなったね。」</p> <p>「教科書を読んで待っていたんだね。成長がうれしいよ。」</p>
考える	<p><b>個々の思考やつまずきを把握する</b></p> <p>(ここでつまずいている子が多いなあ。)</p> <p>(この考えから先に取り上げよう。)</p> <p>「みんなにわかりやすく説明できるよう、図などを使ってもいいよ。」</p>	<p>「ヒントカードを取りに行こう。」</p> <p>「となりの人にちょっと聞いてみよう。」</p> <p>「ここまで考えてみたけれど、他の人はどんなふうに考えたかなあ。聞いてみたいなあ。」</p>	<p><b>考え方を示唆する</b></p> <p>「ここまで合ってるよ。」「いい考えだね。」「この前の考えが使えないかな。」「ノートや掲示物を見て考えてもいいよ。」「絵や図に表してみたら。」</p>
	<p><b>「話す」「聞く」意識を高める</b></p> <p>「途中でいいので、自分の考えを伝えよう。」</p> <p>「理由(根拠)を示しながら話そうね。」</p> <p>「自分の考えと似ているところ、違うところはどこかな。」</p> <p><b>課題解決に向けて思考をつなぐ</b></p> <p>「似ている考え、違う考えはあるかな。」</p> <p>「どうしてそう思うの?」</p> <p>「分からないことはないかな。」</p> <p>「どこが違っているのかな。」</p> <p>「〇〇さんの考えについて、意見は?」</p> <p>「〇〇さんに続けていってくれる人はいないかな。」</p> <p>「〇〇さんの考えは、誰の考えに似ているの。」</p> <p>「〇〇さんの一番言いたかったことは、何かな。」</p> <p>「Aの考え方の人? Bの考え方の人?」</p> <p>「2つの考えの違いは何?」</p> <p>「〇〇さんの考えは黒板のどこに書くといい?」</p> <p>「まとめると、どう書いたらいい?」</p> <p>「考えが変わった人はいないかな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●論点がずれてきた時</li> </ul> <p>「今は、何のことに話合ってるの?」</p>	<p>「わたしの考えは、…。なぜかというところ…」</p> <p>「ちょっと違って…」</p> <p>「似ている考えだけ…」</p> <p>「なるほど。」「へえ。」「わからないなあ。」</p> <p>「わたしの考え方に似ているな。」</p> <p>「質問があります。」</p> <p>「〇〇さんの考えは、どうするとよかったのかなあ。」</p> <p>「〇〇さんの考えについて、わたしは…」</p> <p>「〇〇さんにつなげて言うと…」</p> <p>「〇〇さんの言ったことを詳しく言うと…」</p> <p>「〇〇さんの言ったことを別の言い方で言うと…」</p> <p>「〇〇さんと〇〇さんの共通点は…」</p> <p>「〇〇さんと〇〇さんの考えの違いは…」</p> <p>「…という考えだから、黒板の左側だと思うよ。」</p> <p>「こっこのグループは、…の考えだね。」</p> <p>「〇〇さんの意見を聞いて変わったよ。」</p> <p>「初めは…と思っていたけど、今は…だと思うよ。」</p> <p>「論点が、ずれていないかな。」</p> <p>「時間がきたから、そろそろまとめよう。」</p>	<p><b>よい話し方を価値づける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●伝え方のよいところを、具体的にほめる。</li> </ul> <p>「〇〇さんは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由(根拠)を示しながら話していたね。</li> <li>・用語を使って話していたね。</li> <li>・図を示しながら話していたね。</li> <li>・具体的な例を挙げて話していたね。」</li> </ul> <p>「みんなに伝えるために、向きを変えたんだね。」</p> <p>「一番遠い人に聞こえる声だね。」</p> <p>「最後まで、しっかり話せたね。」</p> <p>「分かるところまで、伝えられたね。」</p> <p>「〇〇さんのおかげで、考えが深まる話し合いになったよ。」</p> <p>「…ってことばを使っていたから、分かりやすかったんだね。」</p> <p>(まず、はじめに、次に、だから、例えば…)</p> <p><b>よい聞き方を価値づける</b></p> <p>「うなずいたり、つぶやいたり、反応があたたかいよ。」</p> <p>「よく聞いていたから、分かったんだね。」</p> <p>「自分の考えと比べて聞いていたんだね。」</p> <p>「〇〇さんの言い方、どこがよかった?」</p> <p>「〇〇さんの聞き方、どこがよかった?」</p>
まとめる	<p>●「わかった。」「できた。」の達成感もてるよう、適用題などで定着を図る。</p> <p><b>子どものことばでまとめる</b></p> <p>「今日分かったことは?」</p> <p>「今日のキー・ワードを使うと?」</p> <p>「こんな時は、…のようにまとめると分かりやすいよ。」</p> <p>「今日、自分ががんばったことは?」</p> <p>「今日、がんばっていた友達は何?」</p>	<p>「今日は、…ができるようになったよ。」</p> <p>「今日は、…について分かったよ。」</p> <p>「今日は、手を挙げて自分の考えを伝えることができたよ。」</p> <p>「まちがっていたけれど、もう分かるよ。」</p> <p>「友達と話合って、考えが深まったよ。」</p> <p>「〇〇さん、がんばっていたよ。」</p> <p>「次の時間は…だ。楽しみだな。」</p>	<p><b>学びを自覚させる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ねらい達成の振り返り</li> </ul> <p>「みんなの考えや気づきから、今日はこんなふうにとめられたね。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学び方の振り返り</li> </ul> <p>「ねらいが達成できたのは、みんなの力で話し合いが深まったからだね。」</p> <p>「自分のことばで自分の考え話すって大切だね。」</p> <p>「使えることばが増えたね。」</p>

※自己存在感をもたせる工夫、共感的人間関係を育成する工夫、自己決定の場の設定など、生徒指導の3機能を意識した授業づくりが大切です。